說社

決戦的教育動員の確立

までもない。從つて、このこと

慰校への轉移等の道も存する器 めの非常構図として、これまた で、結局は成ひ抜き勝ち扱くた

> 強大され、いはゆる『曖昧即愿 るに遊びない。殷島の推移に從

在來ともに機能への負荷は

野宮の振興と相俟って、滑窓、 野路の振興と相俟って、滑窓、

走衛音訓練出施受難」以「專

般に撥集猶豫を停止する反而

開降系統には新たに入営証

等一部の政策が呼止される網里 の質現のためには、法文科系統

なるが、國土防衛上の場合を

育助員態勢の強化でなければ

能が収上げられるであらう。 即ち今回の措置は、決戦で

に顕光整備すること、法文科

成に基くものであって、これ

る。そしてそれがために教育を また日むを 得さるの 磁管で

単使に對する國家要請に茲く数系總力の一環として、慰校竝に

労助員とは、取争の級に沿って ら、既に國土防機動員と感徒動

> 敗せしめる。と咽吸した時、 せて海洋及び島事訓練の普及な

> > なる科學、技術方面を瓜説する 出來る。斯くて戦争に直接

> > > むしろ光気とすべきであり、正 おへたならば、これによって直 られたる場話な道であることを

機を示したものともいふこと き助以際がは、こくに新しき損なかった時だけに、今回の新し

者を除く臓理方面を取る二次

ては「福軸各國は恐らく共同動作 て共和フアシスト新政府の組織を

統帥の決意が現はれるとの見方が

総盤家に急告

砂装したがドイツ外交界筋におい

少数内閣を組織したところに祖図 表明、ことに必ずしも位來の經歷

にとらはれず新人を扱細し、

かつ

っぺきである。

1 0×10A 1 0×50A 100 • 200

ることを結合し

りも恥つべき

よび財配施設を粉砕廿敗機の巡機

【ベルリン廿三日同盟】ムツソリ 一統帥は推士軍來の意氣をもつ

樞軸各國近く承認

となって、一般と曖昧への進出

ついては未だ強調を許さぬが、

等の身通に迫り來ったこと、こ

し、それくの分野に於て駆撃 るが如く『征くものも、また懸

朝鮮における諸島校の助印に

理工科系統の奥校が法文科系での特殊傾命があるに抱らず、

第一級に勇踊出征する者も、

マがて「屋耳航空関係教権役長 出して來たものである。然も

べき時が來たことを強く示さ

また。一部教職員の間と授業

ても 御同機威かなる 御院を行

四南大平洋反脳・戦争司令官マツカ

て右問題に強問が採中されたが、

『陸軍皆局は現在老成してゐなとの強問に對しては

の「爆弾啓明」

配に
は
れ
ば
甘
三
日
の
陸
原
長
官
ス
チ **一般的である。 公司はこの前後指な関係を取へ、公司はこの前後指**

ては自分としては何ら批判を加います。
と言ひまた
「政府はマツカーサーを協議の
なためワシントンに召還するとの
同

ワシントン來聞=米海洱委員會系

法を制定する豫定である、新内閣 會を開催して新共和ファシスト らに共和ファシスト既は近く既下 式に新内閣組織を提製したが、 電ームツソリーニ統帥は廿三日正

內相

ンガリ・カサノバーローマで組織されたが、新政府は、はれる

間―共和ファシスト政府は廿三日 リーニ統師も同地に耐く豫定と云い、ムツン十三日同盟 ローマ來 近く伊太利北部に移され、ムツン

ク十五ペンスを十マルクに引においては百リラにつき十三

三変、舟脈多数を以沈陂するとこ

をもつて公布した、即ち盟邦劉政

、日南鄉、乳颜、十九日梧州、建

新政府、近~北伊

リヤ・バラツクフランセスコ・マ ガットー中に

全の構図を認じたが、現に今回大

算相場引下パドリオ政制對伊爲替換【東京能費】

なる協力のもとに依然執 四日放製)わが陸江

米造船進捗を誇る

直ちに邀撃、これを撃墜したが、わが方も一機変失した テッドB4重爆機一機がわがニコバル諸島カ 【ピナン廿四日同盟】 去る廿二日書間 敵コ ンソリデ

ーニコバル島に來襲したが帝國海軍航空部隊は

以下
諸員の
無機があって御儀

相談、東路首用

で、御参列の高松宮、同妃阿殿下

米政府は苦慮

、玉蘭いとも膨かに御告さく温素酸に出御、大前に御

意親しく御親頼あらせられた、 と祭せられ、國家の安察を御い

殿下御總列、東條首相以下 間妃院殿下をはじめた

い事性を出した外、地上施設に若干の掛戦を受けたが至って懸御で機を野破し他を施設せしめた、この感職でわが方は二種の章

が最一機を屠る

悽愴な空中戦を展開し熾烈な地上砲火と相俟

戦闘機群はたゞちに舞上つてこれを邀撃

において、それと、殿腔を加へて

つてその廿七機を撃墜しB2、BBDなど六

を認めた結果であると同時に、

したのは一面において戦局の緊迫

早り、御典職員率仕して、温感

開殿を御袋師申上げ、

並に同陣殿祭の御院を綴か

重爆撃機、ロツキードP3、ベルP3、カーチスP0、ボートシコルスキーF4U、グラス8日口急降下爆撃機、ロンソリデーテツドB4m、大名廿二日早朝また/~敵機はダグラス8日D急降下爆撃機、ロンソリデーテツドB4m、大手にの薬が出た情報を悪く戦く発展してある。 マンF4Fなど戦爆連合百四十一機の大編隊でわがブーゲンビル島ブイン上空に來製

フイン上空に百四十二機邀撃

擊破六機

宮中におかせられては 東京電話】秋季島既然の廿四

秋季皇靈祭

宮中の御儀

層の徹底が要職せられ、その具體的方向としては朝護鉄成と

官闘會社等精神労働にたづさはる者の執務場運

組織において図

情よりして戦金融増進の徹底的照行、航空機工業等大領の勞務者の

の遺転的整理統合が必要であらう、これによって事が繊維を來すが

部省では廿二日昔局岐を以て法文系の大風は数章を除止する間を建めの整備擴充と伝文科系統の大風、第四風後の統合整理であるが、文

おける大學、専門學校を如何にすべきかに関しては不明であるが 表した、これに関しまだは他的方針が明示されてゐないので關係に

ニ、國內防衞態勢の徹底强化の受工場、

道への移政、道事所の民面への移廊を削提とするものであって、 如きこは固有り得ないと考へられる、この厳楽化は一部中央事務の 草月

帝亞丸香港出帆

地に牧容中の阪國人の一部社を明始 同四時する説前を完了回夜梁匹祭。一路交換地マルマロン港に向った。ム院に飛船したが、一行がブエノ・生活にも持ちず整極元気でブエノー 廿三日午後一時から香港、殿東南 帝配丸は廿二日夕刻、香港に投錨

廿三日同盟] 第二次日米交换版 マルマコンへ ステイレー 米交換船が號 フェノ 飛せ廿三日モンテビデオを出帆、 廿三日既に変換船グリツブスホル ス廿三日間関)変換制がリツブス(新人は前後四日間ブエノスアイレード)オンニ・チノマを買って出き変調 邦人は前後四日間プエノスアイレ 同盟。山形公庭を初めメリ グ號に乗船 イレスサミョ

度をもつて邦人を後西、今日の取

ルゼンチン政府は極めて寛大な政 スアイレスに滞在して居る間。ア

スアイレス出級に先立ち次の通り

よ統帥へ祝電 ポース氏から

全面和平へ努力

機士四機ならびに駆動機 全に駆破するなど多大の

ダイヤモンド社・新刊重

版書東京都麴町區

性自爆大機である、今後わが攻撃

新刊品報報等 新七二一番協会明治 民法 編纂 史研究明治 民法 編纂 史研究

整常な資料を基礎に三十年に沁る明治民法 観察事業を史的賜稿において克明に解明せるもの。 原中、法典総治費料集社技が夢界 あもの。 原中、法典総治費料集社技が夢界

訪日の汪國府主席語る

目間図 民選 郷立郷図 棚製スパ ツクサミ

級對抗争をすべきではなく中國の 同胞に呼びかけ東胆民族は互に

完全消化

ツン來性=郷垣階局は廿三日キア 伊瑞國境閉

601切、 刊新 出

律思想史 着月を辿つて来たかを説明し今

第二の國内應勢頭化方叛についてはほと左の如き害戮が叩覧となるが、第一及び第三の問題は直接中央政府の購配すべき問版であり、 各般にわたって思ひ切った手を打っことは必至と見られる。今回出 して内賦一態、決能即應の賦乎たる施策を樹立するかにあり、施政 ってゐるが、要は從來實施して來た就理施策を如何に驅化、具態化 内防衛艦隊の強化に腐金を刺すべく、政府の具能的方針の決定を待樹立した。右に関し継ぎ形では、内地に飢餓し國民動員の徹底と國 **図民総力を集げて決戦場裡に動員せんとする未曾有の施牧であるが問報局競表になる國内院院顧化方策は既従の抵御、豫教に拘泥せず** の解成を各方面において行って來たが今回の國政巡索大綱に臨み 一蔵の本能に徹せしめ、必勝の信念を以て不配不助、際思報顾の映 致さしかるとにある。而して朝鮮においてはかねて昌國臣民 れが目標として捌けられたる四つの項目中第一項は宮民を開けて 半島の國內態勢强化目標 **外精神の振測は卧室であり、現に光光中の第二次食研増耐動衆等も一変條件、土地飲食事態等の一大進展と共に随急食用作物の増蔵、動** 施設の完備、都市防空施設の現化と不必要建設物の整理移転等が著郷四の國內防衛應熱做底理化に関しては、防空施設、武中工場防空 は従來增米計量を樹立して來たが、自然的條件に左右せられざる生 性にある被底的施策が要求される。而して之がため越餐所において 第三の日朝を通ずる食物の総對的自給に對しては、關稅米作の重要態成とこれが内地談消等は世然常へられることであらう

國内態勢强化策へ

へられる

國内態勢强化への方途

第二の軍綱生命力、特に航空戦力の増殖については、朝鮮郷自の事一、行政運営の決戦化ニスに掛けられたる暗項目のう

とによって凱凱状態にたとへらるべき酸時經濟各種の困難を急速適 時に於ける事務に更に敵時の複雑な事跡が加重されてゐるので、 切捨てるべきであらう、かくて第一級に人物と極限とを移職するこ し皆って献力増融に必要なる事務のみに止め、廢除のものは大緒に

| 一般時下においては特に必要であらう、中央及び地方を通じて現在、子教展と共に、地方事務に通贈せる候務吏員の拡擢登用といふことが 日本人は敢闘

ものであるから、新しい観點から現在の企業整備素が点数时 の統制を強化するはかりでなく物の回の統制、 は内維貿易の推移、鮮内生産事情等より考へて物資の統制が通信 **和機構の確立と企業整備の川板的が必要である。** 以上を要するに朝鮮に於ける當回の問題は最も大騰に施州の徹底 其の他この問題について一般的に内地順應、特殊的にはば

によって起り得べき各種の問題は政治的に解決さるべきであらう との一個化を必要とするに至ってゐるので所謂『明解の特殊事間』 強化を闘ることである、而して悽愴なる決戦事機は徐々明鮮

として食物の飛躍的地蔵を明は

る援助等を根幹として策定された 一般、 潮州 墨蒙的、 東北 一對

綜合食糧對策大綱

る五日綜合食焼特別委員會を設置一的側在研究を続けた結果、この程 し内外地の食品事間につき間査研 【東京電話】褒政會政務關查會で|速費現を期するため阿部総裁から 方要誘した、しかして今次の複数 決定、廿三日政府に對し進言重施 日総合館棚勢策に関する大綱』を

放脱とともに反植軸各國において

「リスポン廿三日同盟」帝國政府 決戦態勢施策は東條首相の放送

に英紙の恐怖

翼政、政府に進言、實施要請

本型網戒略案』を決定、これが急・ず闘く網館に着限し日補売を一丸

閣顔觸れ發表

共和ファ

シ

スト政府成る

の直面的整理統合が必要であって、ことにより、おきに対し、被の整飾機能と反文はで称うてよった。 行政機構職業にについては域に観響がではた数にれを行って「一、 **國民動員の徹底** これのあるので、内地に観響と述ら他心的職業化を行ふとは各点および係 被の整飾機能と反うはで称うってよった。

國民動員の徹底これが中心的問題は理工科系統の恩

局盟] 今次訪日を**部** なく終了、廿

獨クバン撤收 は腐々焼烈を加へるであらう 場から組織的に撤収した合け四 カバン個頭係の類目がカバン間

元帥は二十三日布告を競し次の通 同盟】赤印吸高司

衛爆點ポルタ

新 業 政 策 講 一 A B B B B B P 时 种 余 太 郎 著

るかを説ける一般人門書。

下の麹民に必須な諸問庭の知識を現ふ。又職時國際独の部分は紙數を倍加し、職時国門諸地方、印度に關する記事を制足し、職時諸地方、印度に関する記事を制足し、他計談け不時関際独っ部分には東距共受閥

本書は民事刑事の南訴訟法に就いて、締め本書は民事刑事の南訴訟法に就いて、締めかると共に、訴訟乃至本書で、領官の見解を顧明

新印以報節上級 京一三六五番馬 新印以報節三二六頁 廣図「岡六十級 政行 民 法(新法婦韓話者)

べき民法を、高い水準を作らつゝ平易に説せる獨自の立場から、御民我等の質疑すり分法を本位として明宗法をそれに従屬せ

かい

レンスク東南百キロの製金ロスラ 同盟 銀灯削減報道によればスモ 探観日後間と に関な市場

街でも自住品でも相

人が動くのであらう▲政心が観 のであらう▲政心が観 人出の多い街 人出である

掛置が一時的便法かどうかは判らない。 通過を許すに限定した、但して 家の一切を駆けて、 算が、火を助くやうな以びで駆除 か▲あらゆる私的生活の徹底的流 の人々の館は案外のびたうどんのの職は案外のびたうどんの うだが、これでよいのであらう

福河町遡問歐記(九月廿 福河町遡問歐記)交那 きか今であり、一機関心の一大艦 軽却のときなのに、除りにものん でり過ぎる~その一艦機関と呼ば 虫のいっことを表だに考へてるい。自分だげ片隅の幸励をなどと まれてゐることを忘れてはならな 千五百路も含 育っ猛地のと 佛 深 正 策 爾

敵基地群潰滅

避步財政、後はカフエーに指称と その殷榮を半ばにして銃をとって 、使食の代表かの如く呼ばれば肚年遊は、自分逸が保備、 休は出年に織し がを引受けよう **心べきである。** に傾いしよう ちべ、つ味尾船夫職 安藤英夫著 房書笠三 二田牌西·田牌·京東 大九〇二二 京東替振

刊新店 書倉朝 一告 生活の有機化學 二國二郎著 Bell+00

像、兒童生活の實態、青木誠四郎を図った。

現象學(上)佐竹哲雄者是問門公司

民族科學研究 振興會編 度質八八〇

民族農政學小野武夫著《流五三三百

弘禄 十 號庫載 後の方回に新しい示 を興へた

植民地 多と協力物の問題から後が展出を 座級●京東

西

獨逸の占領地統治政策 建で収斂民に多大の示時を與るの海 野 稔著 呂古川 戦川・〇四十年 東げる 無漢の選いとは いは 地線管の サイス の ナナス 的機器によって 建設工作を

學を音樂

十月初旬経費

原久一郎

文樂の

作者ツルゲー 御助にして良 を動にして良 を動にして良

日咳 喘息 肺結

世會發合樂製由發伊

石業 別機

り二月十四日までの間に身體が

生飛行兵はわれの宿望であり念

空は僕等の決戰場

何んぞ惜まんこの

4年十二月世一日をもつて締切 は本十八年十月一日から開始

つに施課に勉励してゐる、郷里の

きっと備くなって、りつばな

副分達の後輩よ米英階級のため空 自分達の後輩よ米英階級のため空

空に來れ、これからの戦争は空に

自分は歯ぎし 射したのだ、

女子事務員採用 整理的 野間 鑛業部 野間 鑛業部

場劇陸大 場劇洋東

める、空で制してこそ勝利を得る

大空に飛び立て、空は着達を待

百機はものゝ数ではない、片端か めつても飛行兵となって米英の奴 號を大空にやつつけよう、 百機二 りした、口惜しかつた、どんなとが である、岩櫻の如く我々は明日歌 大君の御祝として大空に敬るのみ

級に飛び出すには少年飛行に

一日も早く第一

だけの監悟を固めてゐる、

となり腕が未熟なら間當りでゆく

てあれこれ想像してゐた以上 入核を許されてみると地方人と

てゐる、一分一秒を惜したで

飛行兵となって前級に飛び立

るのが早道だと知つた、合格した

校初等科修了程度、入校は四

代敵の雄である少年飛行足

者で、陸軍少年氏召集の中、特に今回より少年飛行兵志 は大正十三年四月二日より昭和五年四月一日までに出生の 本部で昭和十九年四月に採用すべき陸軍少年飛行恩校生徒

酸に敵陣盤破摧のためのわが空軍勢力必死増强を明し、銃後

の映略は防空に對する指加組織の

飛ぜられたのであった。 これが田 太利脱落の一大映脳であった、 微的な米茂の謀略が行はれこれに 秩序が曖昧されてこに掘力目。

傾何が原因したか、その最大

であげ途に脱落の悲運を辿ったの

映略をあげることが出來る、

企田の決定的強味は別空順登一るがへつて我々の研究機構を含

が軍民一元化されてゐる版である

なかった、空観といる瞬間的な戦一のなかに、我々が完璧の防箭監察

機で於ては各種の相剋、混亂を格、元化が更に緊要と言つてゐる、

十萬は崩倒の落をしつかと心にか」の烈々火をゆく書頭を初め玉帆訓、長が、〇〇、〇〇部院長に 宛てた一僧の淑りなく頭められ道図三日三 (衛覧覧大)寛と寛て之山昭伊に中海 | 開始十日間の五月 | 日に山郷地線|

だちのあとにつつかんと、

立に必勝の信念を堅持して一路

レく第一級に

を決心したのである、一億が顕石

| 圏にも縦兵制が施行さ | つつけてやりたくなつた、そして | 大東亜版が勃発するや大陸に南に

れ私たちも等。時れて大空を飛ぶことが出來るや

北に少年飛行兵の真蛮力闘は目ざ

と靖國の花と散り神となって永遠

ましく酵々たる武動を樹てた、僕

島若人よ、いまの戦心は航空撃波 に自出づる國を守らん、郷土の半

岩出正男京城宮野町(南 大いに奪ってわが陣営に死

版學學

何と不確安心臓り度く除』と原理してあるが見着米垣がアツツ部と共に『小電視存する限り並方面 文字が被られ我ら同胞を底波

日に迫り同励緊然場其他第一の準

陸鷲志願の手引き

陸の艦艦への道 として陸軍航空



御雪夏=盤明展治成りの高松

反省せよ伊の 不備はないか民防空 脱落

官ともに高級官職の指揮連絡訓練

やものがあった、こくに治いて壁

季に送られる、石貨崩は左の城の貨幣二遍が近く同中海の 登展の

告を愛し大褒左の如く踏つた

のシャが敷度に亘る空間で悲鳴」き起し時間的認識によって総ての一きに全部が臨主任者の活動を質地一動な訓練が豫期以上に進展してる に見たのであるがその資例さと第一るのを知り、自らを置みて出化た あゝ壯烈!武人の面影

排ふ必要を痛感するのである

璧を切さなければならない、銃後は決戦場の長站であり であげ、他山の行となすとくも化脱後に動す で支配する、銃後防衛隊の強化に對し廿四日朝鮮貿久保参 がは伊太利脱落の渓因が防空防災の職勢不整備に帰した当 一般差別でありこれが防筋の強弱はまた前線配信の動所

談謀參保久 のが如く際密化されてあるか、不 が楽して所図の場に達してゐるか

英盛を迎へる遊族にとつて無い

速に登現するやう劃期的な努力を

書面、倉班、和歌、俳句

に玉飾して窓次の大磯に生きを軍 てある。同玉碗部線は大本窓座裏 岩頭には切太陽を打つむ生養國のに玉飾して窓次の大磯に生きを軍 てある。同玉碗部線は大本窓座裏 岩頭には切太陽を打つむ生養國の

胸打つ軍神山崎部隊長の絶筆



の荷閣し措置、東京都武蔵 第二國民學校初等科六年伊 恩衛市松山國民學校初等科四 恵子さん、水深測道機、窓和線 和酒ならびに陳駅、夜景先 て見ましたからなどと有難 また 妃殿下には御殿しく 数人の御下間を賜つた御のも 等質、佳作などのよ

ったものとはどれがよいか 流の最後の一週間で仕上げな つらに『このあとに新しく 沿って止めてをりましたが、 たのは四月でした、中途で行 つたか。これとその後に作

れを計法しましてはじめまし

五月1日 山崎 保代 〇〇部隊長殿 〇〇部隊長殿

悠々敵情を偵察の場合 明別に任務に努力遵延し、居候に和母しく御座帳、將兵は至極と対母しく御座帳、將兵は至極

五月1日 五月1日 山

ないやうにと思って一気に飛行場 た氣がつかない模様だ、當然地上 察に突込み撮影したが似機はま 2達の位置を数へてあるのだら

必勝不敗の東顕精神を緊持せしめ ら用がすめは急いで機菌をかへて一路につく、酸素が残り少くなった し見つかったら田弥が来せないか 徴兵制を徹底聯盟で

がこの場になってP30

つたが、数はなほ数

明 座治

日本ニュースが後の墨湾から一番を乗るを乗るの

所に向ふ途中〇〇附近で○〇メ | の壁のやうに行く手に立ち塞がり | んだ、然し幸に敬敬を認めば

執拗なる哨戒狸によく飛行場優察の重任を果 昆明空襲に 先き立つ 〇日あらゆる悪條件を 機『新司偵』の超人的記録が認められてゐる

察行の勞苦を左の如く語った

く、同中的は隠密偵察はあくまで地味な陰の 任務でたゞ無辜に務めあげて寒塵機隊の収果

地で開催してゐたが、こんとないでは《歌兵制の夕》を全點各 一日 (十二十) 四十) 安 (四日)海南(田田)南部 てしまった、閲覧隊

上空に侵入

る松林にとり歴まれた龍山陸町

間にはコスモス、ダリヤ、

館畫映信和

場劇火中

るだ. の収集を含く

0

急行、寢台券の割當を增加

タイピスト採用電砂管を一ヶ年以上の高な金楽程度の方式出す。

日本炭素工業職式

事鮮行政學會 朝鮮行政學會

は日本のでは、100mmのでは、100 根

一十四日とり 原を経り、 一十四日とり 一十四日と 一十四日と 一十四日と 一十四日と 一十四日と 一十四日と 一十四

座富新

難期に対している。 一般に対している。 が表する。 ののになっている。 のので、 館花根館樂

はす、かくて選心の戦を賭け 內地大陸間 相互連絡を調整

れば、いまでは軍隊生活もやう く馴れてきた、朝から後にかけて 作業) (英衆中學院

んがみ観道省では鮮餓、漸緩、華がごじて大陸間変速の重要性にか 旅客輸送開整は一段と超化されるにより急行旅客列車は相路拠少し

には、派の出るくらゐつらいこと

てム、規律正しく毎日の訓練が遊

ペンも 華中の大陸側各級道と打ぐ **林桑萬** 縣 器示標空防

密軍少年飛行

恩夜、または

陸軍航空本部などに四銭の切毛

の細かな生意書や願書感は各地感際層司令部(長東部)が

異を触するといふことは以上に

面銀河里五統一戶 (三水部分班

殿に燃えて一人でも多く航空決戦

の本版ではないか、若者は磁忠の

い、そして米英鑑城に選張しよう どう花少年飛行兵を志願して下さ

り望えて後端達よ、空に敷からの大空に続むの定、私々の屍を飛

は、とうない。 ことは、152 つた、大東部職事が建る區域空町を対してためだ、 中でものでなって、大東部職事を対してのでは、 中でものでなって、 大東部職事が建る區域空間で、 中では、 152 つた、 大東部職事が建る區域空間で、 152 では、 1

やうに血ぶどろの訓練をつんであ なって大空で準備の活機が出來る

はないであらう、踏君空の策酔に

決意した、派を削するものは

く身際を強くし、強れた過程を開

が は其日々々、日の民族を全うした の は其日々々、日の民族を全うした の は其日々々、日の民族を全うした の は

後衛たちよ、大東亜戦に勝つ爲にと同じ氣持で勉强してゐる、私の

の心機へを願ってもらの心機へを願ってもられても恥かしくないやう日常

僕はいま、名衆ある少年飛行兵、

固く書つた、後報語君に告ぐ、婚君

殿の如き泉高なるヶ空の神々のあ

一公の赤城に燃ゆる熟血の男子

元人のうへ申込めば筑送して貰へる、なほ本年からは特に

を関うされた。 を関うされた。 を関うされた。 を関うされた。 を関うされた。 を関うされた。 を関うされた。 を関うない。 を可しない。 を可しな。 **解雇废告** 有 数加斯 野